

(様式2)

2	3	0	0	4
---	---	---	---	---

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年2月25日
札幌市立札幌小学校

1 本年度の重点目標

考えよう 自分で！ 支えあおう みんなと！

2 本年度の経営の重点

学 ぶ 力	1	「分かる・できる・楽しい」授業づくりに努め、進んで学ぼうとする子どもを育てている。	
	2	家庭と連携して学習習慣の確立を目指し、家庭学習の習慣化を図るとともに、個に応じた指導の充実に努めている。	
豊 か な 心	3	ふれあい活動を通して、豊かな人間関係を築くとともに、児童会活動・クラブ・係活動を通し、自主的・自立的な態度を育てている。	
	5	学年学級経営の創意工夫に努め、いじめや差別を許さない人権意識を育て、札小「こころのことば」・挨拶などの生活態度の充実に努めている。	
	6	読書指導（朝読書、図書館の活用、読書週間、放送朗読）を通して言語力を高めることで、読書活動の充実に努めている。	
健 や か な 体	4	運動に親しむ環境づくりに努めるとともに、食育を含む健康安全教育と家庭と連携した食育活動の充実に努めている。	
信 頼 ・ 共 有	安全 安心	7	教育活動の様子が分かるよう HP 更新・各種便りで情報発信を工夫の工夫に努め、学校と家庭や地域と情報を共有している。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

評価項目	自 己 評 価		学校関係者評価	
	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
1 学校は、「分かる・できる・楽しい」授業づくりに努め、進んで学ぼうとする子どもを育てている。	B	今年度は、国語部・算数部に分かれた授業検討グループを中心に、年間2回（予定）の全校研の実施などを通して、児童一人一人が「分かる・できる・楽しい」授業づくりに努めることができた。また、全教師の授業公開を行い、教材分析や、児童へのかかわり方について考え、実践することで、創意工夫に努めた。 次年度も、今年度の成果をもとに研究を重ね、児童の様子の適格な把握に努めるとともに、校内での研修や、授業づくりの機会を計画的に設定し、「分かる・できる・楽しい」授業づくりに努め、進んで学ぼうとする子どもを育てていきたい。	B	B
2 学校は、家庭と連携して学習習慣の確立を目指し、家庭学習の習慣化を図るとともに、個に応じた指導の充実に努めている。	B	基礎基本の学力の定着を図るため、宿題・家庭学習の取組を家庭と連携を図りながら進めてきた。校内では、児童一人一人の、家庭学習の様子を校内掲示したり、教師がその取組を評価し励ましたりすることで、意欲の向上を図ってきた。また、各学年での取組の様子についても情報共有し、6年間を通しての宿題・家庭学習の取組方法の改善にも努めている。 次年度も継続して宿題・家庭学習の取組を通して、学習習慣のより一層の定着を図りたい。	B	B

3	<p>学校は、ふれあい活動を通して、豊かな人間関係を築くとともに、児童会活動・クラブ・係活動を通して、自主的・自立的な態度を育てている。</p>	B	<p>児童が中心となった挨拶の啓発活動に全校で取り組んだ。高学年が主役となる挨拶活動の取組を継続して行うことで、挨拶のよさを実感できる機会が増えた。また、委員会が中心となった廊下歩行に関する啓発活動も行い、各学級・学年で廊下を安全に歩行しようとする意識を高めた。</p> <p>また、兄弟学年を中心としたふれあい活動にも1年を通して継続して取り組み、互いを尊重する豊かな人間関係を育むよう努めた。12月の児童アンケートでは、設問「ふれあい活動では、兄弟学年の人と交流したり遊んだりしている」では、児童の肯定的評価は86.1%、同項目の保護者アンケートの肯定的な評価も90.7%であった。</p> <p>次年度も、児童委員会が中心となり、学校全体が温かいつながりを感じることができるよう、活動を工夫し豊かな人間関係を築いていきたい。</p>	B	B
4	<p>学校は、運動に親しむ環境づくりに努めるとともに、食育を含む健康安全教育と家庭と連携した食育活動の充実に努めている。</p>	B	<p>学習以外の、休み時間での運動に親しむ環境づくりとして、なわとびデイ、跳び箱デイ、マットデイなど、子どもたちが、楽しみながら体を動かす機会を設定することで、運動にすすんで親しむ児童が増えてきた。また、児童一人一人の体力の向上にも努めることができた。</p> <p>12月の児童アンケートの設問「休み時間にグラウンドや体育館で体を動かして遊んだり、いろんな運動デイにも参加し進んで体を動かしている。」では、肯定評価は78.5%であった。また、5年生が実施した全国体力・運動能力調査では、男子の平均値が全国平均を上回る項目が増えた。</p> <p>次年度も、運動機会の充実に繋がる環境整備を進め、心と体を大切にしたい学びの実践に取り組んでいきたい。</p>	B	B
5	<p>学校は学年学級経営の創意工夫に努め、いじめや差別を許さない人権意識を育て、札小「こころのこぼし」・挨拶などの生活態度の充実に豊かな心を育てている。</p>	B	<p>委員会活動を通して、挨拶の大切さを児童が発信する取組を行うことで、その良さを実感することができた。また、こころのこぼしを教室に掲示したり、教師がその大切さを呼びかけたりすることで、すすんで使おうとする意識を高めることができた。</p> <p>今年度から、いじめ防止委員会を毎月実施し、各学級・学年でのいじめ案件について、情報共有に努めるとともに、全職員で解決へ向けての方向性を探ることができた。また、校内いじめ防止ガイドラインに沿って、臨時のいじめ防止委員会を開き、常にいじめ案件に対して対応してきた。</p> <p>次年度も、継続して取り組んでいきたい。</p>	B	B
6	<p>学校は、読書指導(朝読書、図書館の活用、読書週間、放送朗読)を通して言語力を高めることで、読書活動の充実に努めている。</p>	B	<p>教師の読み聞かせ、PTAの読み聞かせ、放送朗読などを1年を通して継続して行うことで、読書の大切さを伝えることができた。図書委員が、中休みや昼休みに本の貸出業務を担ったり、クロムブックで児童の読み聞かせ動画を作成し発信することで、児童の自立的な活動をすすめることができた。</p> <p>次年度は、司書教諭が窓口となった寄託図書活用の取組を実施したり、読書に取り組める時間を設定したりして、読書活動の充実に努めたい。</p>	B	B
7	<p>学校は、教育活動の様子が分かるようHP更新・各種便りで情報発信を工夫の工夫に努め、学校と家庭や地域と情報を共有している。</p>	B	<p>学校からの各種のお便りやホームページ、すぐるシステムを活用し、児童の活動の様子や、生き生きとした子どもたちの姿などを発信してきた。保護者アンケートの設問「学校は、お便り、ホームページ、メール配信を工夫しながら、情報を家庭と共有している」の肯定評価は93.8%であった。</p> <p>次年度も、すぐる、お便りやホームページなどで、保護者との情報の共有を図っていく。</p>	B	B
<p>学校関係者評価委員による 主な意見</p>		<p>的確な評価に対して、改善計画が成されています。</p>			